



2025年2月13日

各位

上場会社名 株式会社 加藤製作所
代表者 代表取締役社長 加藤 公康
(コード番号 6390)
問合せ先責任者 執行役員財務統括部長 柳原 秀匡
(TEL 03-3458-1130)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年11月8日に公表した2025年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 61,500	百万円 1,500	百万円 1,600	百万円 △ 4,200	円 銭 △ 358.32
今回修正予想(B)	52,500	1,500	2,100	△ 4,200	△ 358.22
増減額(B-A)	△ 9,000	—	500	—	
増減率(%)	△ 14.6	—	31.3	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	57,498	1,654	2,575	4,235	361.49

* 想定為替レート（下期） 1米ドル=150円、1元=20円、1ユーロ=155円

2. 修正の理由

2025年3月期は、現在推進している中期経営計画にてテーマに掲げた『スリムで骨太体質への変革』が一定程度進捗したことを受け、増収を計画し、それに伴う増産体制を整備してまいりました。

しかしながら、国内においては高価格帯の大型ラフテレーンクレーンの新型車販売の遅延に加え、中古車市場の価格低下に伴う買い替え需要の減少、建設工事に関わる人材不足による建機需要の伸び悩みなど厳しい販売環境が継続いたしました。

また、海外においても主力市場である米国においては大統領選挙前の買い控え、欧州においては急速な需要低迷があり、第4四半期も各市場での急速な需要回復は見込めないことから、連結売上高は2024年11月8日に公表いたしました615億円から大幅に減少する見通しとなりました。

一方、営業利益については、利益率を重視した販売戦略を継続したことや生産効率改善策などにより減収を補い、前回予想からの変更はありません。経常利益については、受取補償金の発生やホテル事業が好調に推移したことにより、前回予想を上回りました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、為替レートの見直しを変更したことにより、修正はありません。

当期の連結業績数値は一時的に厳しいものとなる見込みですが、既に開示しております中国子会社2社の解散・清算に伴って発生した子会社整理損は一過性のものであり、先述した大型ラフテレーンクレーンの販売も開始されることから来期以降の連結業績と資本収益性は改善していくものと認識しております。

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上